

第 3 回 委員会 議事要旨

(1) 日時、場所等

日 時：平成 25 年 3 月 27 日（木） 15:00~17:00

場 所：静岡県庁別館 9 階 第 2 特別会議室

(2) 議事要旨

○ 全体

- ・ 長期構想をどうやってまとめていったら良いか。20 年、30 年先では話が分散する。短期的な優先順位も見ていく必要がある。
- ・ 今後の進め方では、中長期、短期の仕分けを行い具体的メニューで進めてく。

○ 物流・産業

- ・ 港湾施設のハード整備だけでなく企業やものの動きの誘致が必要である。輸出貨物は飛躍的には伸びない。輸入貨物は捕捉できてない貨物がある。
- ・ 京浜と中部との間にあり港湾の役割が埋没している。首都圏から近いのでリスク分散の拠点としての可能性がある。
- ・ 北米・欧州航路だけでなくアジア物流へのアプローチが必要。荷主からの直行ニーズ応えられる港を目指すべきだ。
- ・ 内陸施設（庵原地区）のイメージは、まだ具体的にないが輸入拠点となって地元産品の全国配送の可能性を探りたい。

○ 防災・危機管理

- ・ 地震被害想定については、県から 6 月頃検討結果が出るので、これが前提となる。
- ・ 火山噴火災害、原子力災害について発生頻度は比べられない→それぞれのカテゴリーで整理して発生頻度の欄はなくす。
- ・ 静岡県みなと機能継続計画より避難対策、災害時緊急物資輸送など今後内容を充実させる。
- ・ 広域での支援体制では、何を求めるかなどを検討する必要がある。被災時に必要な重機の確保では、被害にあってもすぐに使えないので、高台に保管しておくなど工夫が必要である。
- ・ P 8 6 の広域連携の欄は、首都圏だけでなく、西への支援もあるのではないかな。

○ 交流・生活・環境

- ・ にぎわいでは、港湾だけでなく観光関連との協力が必要である。清水には、魅力のあるコンテンツが少ない。プラモのバンダイや田宮、資生堂、お茶などが観光資源となる。
- ・ 交流拠点ゾーンが非常に集約されている。港湾に対する市民の理解のために、港湾活動を地域住民が見れる空間があってもいいのではないかな。